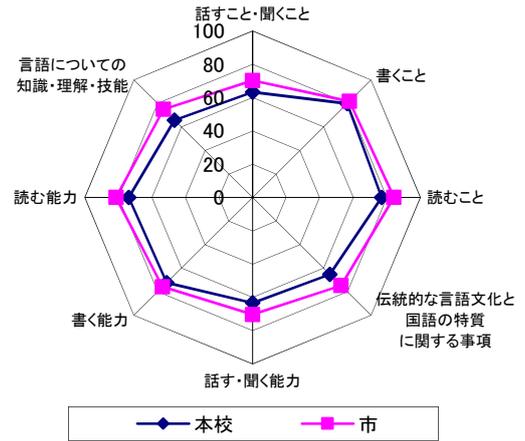


# 宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	63.3	70.3	68.2
	書くこと	79.9	81.7	80.6
	読むこと	77.0	84.3	84.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.3	74.7	72.7
観点別	話す・聞く能力	63.3	70.3	68.2
	書く能力	72.2	76.0	74.1
	読む能力	73.8	81.3	81.1
	言語についての知識・理解・技能	65.8	74.9	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

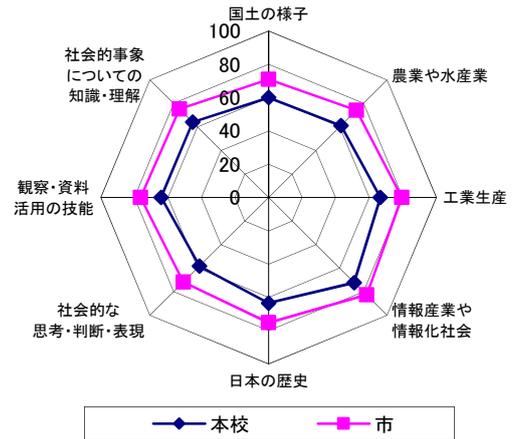
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市平均より7.3ポイント低い。 ○4月の全国学力調査でも、低かった領域であるが、与えられた情報を読み取り、話し合いの観点をふまえて内容をおおかた捉えられる児童が増えた。 ●意見を1つにまとめる提案を記述して考える問いが、市平均も低い、半数以下であった。</p>	<p>・話し合いをまとめた表の内容と提案者の最初の提案の内容を合わせ、まとめて記述する問題に課題が見られる。2つの要素を含む提案内容になっているが、1つのみで答えてしまう誤答が目立った。読みにおいても同様であるが、図式化して内容を整理して記述する活動を取り入れたい。</p>
書くこと	<p>平均正答率は、他の領域高いが、市平均より1.8ポイント低い。 ○4月の全国学力調査においても、市平均との差が少ない領域である。日頃から、新聞記事を読み取って、文章を書いている成果が出ている。 ●特に、グラフから読み取った事実を書くことについては、8ポイント低い。</p>	<p>・指定された文章量を守っておおかた書くことができる。しかし、読み取った事実を書く場合、数値を引用する必要があるが、内容のみ書いている残念な誤答もある。資料(グラフ等)を読み取り文章にする際、本文の問いのように報告文と意見文を合わせて求めているので、それに適した文章を書くとき必要なことを改めて整理して指導したい。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、市平均より7.3ポイント低い。 ○4月の全国学力調査と比べ、差が縮まっている。図書資料を利用した読み取りの授業を工夫した成果と考えられる。 ●特に、説明文の文章の内容を読み取る問いに誤答が目立つ。文中にある図式化された関係図を用いて読み深めることに課題が見られる。</p>	<p>・やや難しい文章の内容なので、図式化されていて、それがヒントになっている。それと合わせて読むと内容が把握できるので、日常の読み取る学習で、取り入れていきたい。さらに、他教科での調べ学習等でも、読み取りしながら文章の内容を自ら図式化できるような機会を作り指導していきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、市平均より9.4ポイント低い。 ○連体修飾語についてと国語辞典の使い方についての問いは、正答率が市の平均を上回っている。 ●特に、漢字を書く問いは、「報告」「永久」「額」等、正答率が約半数であるものが多い</p>	<p>・前年度学んだ漢字であるが、習熟されてなかったり、語彙量が少なかったりすることが原因と考える。日頃の漢字練習だけでなく、読書等で広げたり、漢字を日常の作文等で書くことにポイントを置いた授業をしたり、強化していく必要がある。</p>

# 宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	60.0	71.0	69.4
	農業や水産業	61.1	74.0	69.0
	工業生産	66.7	79.4	75.4
	情報産業や情報化社会	72.2	82.8	88.7
	日本の歴史	63.4	75.2	72.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	58.2	71.9	67.2
	観察・資料活用 の技能	64.1	76.3	70.7
	社会的な事象についての知識・理解	64.0	75.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

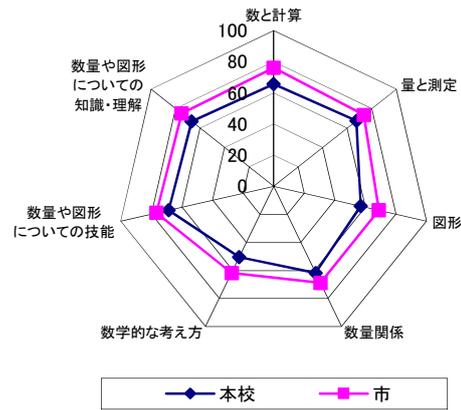
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	平均正答率は、市の平均より11ポイント下回った。 ○日本周辺の海洋名をよく理解している。 ●国土の主な山脈、河川、平野の名称と地図上の位置を選択することについて、環境については、公害の意味を問う内容での誤答が多くみられた。名称や基本的な用語の理解に課題が見られる。	・国土の主な自然地形の名称については、地図帳を活用するとともに、写真や動画などを用いて、それぞれの地域の美しい自然やそこで暮らす人々の営みを紹介し、印象付けることで理解に努める。 ・公害については、具体的な事例を再度確認し、理解に努める。
農業や水産業	平均正答率は、市の平均より12.9ポイント下回った。 ○稲作についての工夫や、食の安全確保のための努力についてよく理解している。 ●農作物の生産地域を統計地図から読み取ったり、我が国の食料自給についての問題について統計グラフから考えたりする問題の誤答が多く、都道府県の位置の理解や、グラフの活用に問題が見られた。	・都道府県の名称と位置の理解については、地図帳を活用するとともに、児童に身近な各都道府県の特産品や、観光地などを紹介することで興味を持って取り組めるよう指導法の改善を図る。 ・表やグラフ、図などを用いて考えたり説明したりする力を育てるために、授業の中で、複数の資料を関連付けて考えさせ、分かったことを発表したり、児童同士が意見を交換したりする場を増やすようにする。
工業生産	平均正答率は、市の平均より12.7ポイント下回った。 ○工業生産に従事している人々による、環境保全のための工夫や努力について考えることができている。 ●工業製品を、工業の種類別に分類・整理する問題での誤答が多くみられた。とくに、機械工業の場合、製品の素材に関連する工業を選択している児童が多い。	・身近な工業製品を取り上げ、分類・整理するなどの活動を通して、習熟を図るようにする。
情報産業や情報化社会	平均正答率は、市の平均より10.6ポイント下回った。 ○テレビやラジオ、新聞などの情報手段によってどのような情報が伝えられるかをよく理解している。 ●資料を基に、情報ネットワークの活用で、どのようにサービスが向上したかについての誤答が多かった。情報ネットワーク導入による変化の理解と、資料の活用に課題が見られる。	・情報ネットワークの活用によって私たちの生活の変化について具体的な例を挙げて理解させるよう努める。 ・授業の中で、文書資料から読み取ったことを基に話し合う機会を増やし、思考力を高めていきたい。
日本の歴史	平均正答率は、市の平均より11.8ポイント下回った。 ○戦国時代や幕末・維新など、歴史の変革期に関する問題と修学旅行に関連して調べ学習を行った鎌倉幕府に関する正答率が高かった。 ●資料を読み取ったり、それをもとに考えたりする問題での誤答が多くみられた。資料と歴史に関して学んだ知識とを結び付けてとらえることに課題が見られる。	・歴史に興味を持っている児童が多いので、これまでの学習で身に着けた知識を基に、再度、資料を比較させるなどして、考える力をつけていきたい。

# 宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	65.7	76.1	73.5
	量と測定	67.6	73.6	70.1
	図形	56.9	68.8	66.6
	数量関係	61.8	68.9	64.5
観点別	数学的な考え方	50.5	61.8	54.9
	数量や図形についての技能	68.7	76.7	73.2
	数量や図形についての知識・理解	66.9	75.0	73.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

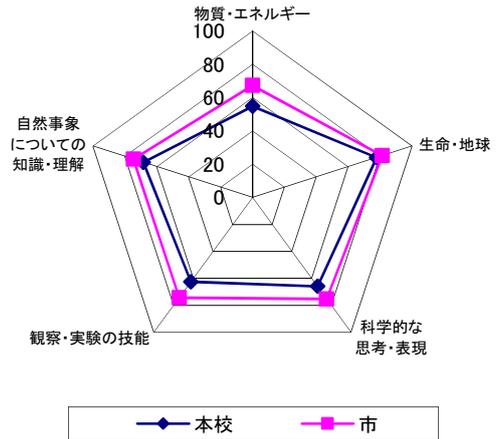
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市の平均より10.4ポイント下回った。</p> <p>●分数の除法や小数の除法の立式を問うの問題では、市の正答率より20ポイント以上下回っており、理解が不十分である。</p>	<p>○良質な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算については引き続き宿題プリントを課すことで、忘れないよう指導を継続したい。</li> <li>・除法に関する問題を苦手している傾向があるので、言葉の意味やその言葉が式のどの部分にあたるのかなどを十分に理解させ、言葉で説明する活動を取り入れ確認をしたい。</li> </ul>
量と測定	<p>平均正答率は、市の平均より6ポイント下回った。</p> <p>○時速を求める式を問う問題では、正答率は市の平均よりも高かった。</p> <p>●直方体を組み合わせた形の体積の求める問題では正答率が市の平均より11.5ポイント下回っていた。立体の多面的な見方についての理解が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習の時間を設け、定着を図りたい。</li> <li>・数学的な考え方、知識・理解に関する問題を苦手している傾向があるので、言葉の意味やその言葉が式のどの部分にあたるのかなどを十分に理解させ、言葉で説明する活動を取り入れ確認をしたい。</li> </ul>
図形	<p>平均正答率は、市の平均より11.9ポイント下回った。</p> <p>○合同な図形の作図の問題では、市の平均をわずかではあるが上回った。</p> <p>●線対称な図形、点対称な図形の問題では正答率が市の平均を下回っており、特に点対称な図形を選ぶ問題では市の平均より14.8ポイント下回っている。線対称、点対称の性質について理解が不十分である。</p> <p>●多角形の内角の和を問う問題では、市の平均を9ポイント下回った。多角形についての基礎的な理解が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな図形の性質について、再度確認をし、きちんと整理して理解させるようにしたい。</li> <li>・点対称、線対称な図形の性質について、再度確認し、作図については、手順をもう一度確認させ、正確に作図が行えるよう問題を解かせ、定着を図りたい。</li> <li>・内角の和を求める問題について、求め方をもう一度確認をしたい。</li> </ul>
数量関係	<p>平均正答率は、市の平均より7.1ポイント下回った。</p> <p>●文字と式に関する問題では、2題あり、一方の値から他方の値を求める問題では、市の平均を20ポイント以上下回った。学習したことを活用する力が十分に育っていないことが分かる。</p> <p>●反比例の関係を読み取り、値を求める問題では、市の平均より13.5ポイント下回った。反比例についての理解が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例と反比例の知識が十分でないために、混同してしまっている傾向が見られるので、それぞれの知識をしっかりとさせたい。整理して理解させるようにしたい。</li> <li>・文字式についても、多くの問題に触れるだけでなく、なぜそうなるのかについてもしっかりと考えられるようにしながら問題を解かせ、定着を図りたい。</li> </ul>

# 宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	54.8	67.3	64.4
	生命・地球	77.8	81.3	80.3
観点別	科学的な思考・表現	65.9	75.3	72.6
	観察・実験の技能	62.6	74.4	73.5
	自然事象についての知識・理解	68.5	74.7	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、おおむね市平均と同程度かそれをやや下回った設問が多い。</p> <p>●ふりこの条件を変えたときの、1往復にかかる時間の変化をとらえることが難しく、市平均を約25ポイント下回った。</p> <p>●物のとけ方に対する正答率が全体的に低く、市平均を約15～40ポイント下回った。</p> <p>○直列つなぎの性質や水溶液を使った実験の注意点を答える問題は市平均を大きく上回っている。</p>	<p>・実験を通して視覚的にとらえやすい、感覚的にわかりやすい問題の正答率が高い。児童が実験の目的・方法・結果を理解し、その関係をつかむことが大切である。</p> <p>・物のとけ方は、飽和水溶液を冷やすと、とけこんだ溶媒が結晶化して出てくること、再結晶化したミョウバンを取り出すのにろ過が有効であることを、再度実験することは難しいので、映像資料やプリント等でおさらいさせたい。</p> <p>・実験の手順や結果をレポート等にまとめさせ、再度理解をうながす場を設けることも効果的である。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、おおむね市平均と同程度である。</p> <p>○動物のからだのつくりとはたらき、食物連鎖など、生き物に関する設問の正答率が高かった。</p> <p>●月の見え方と月・太陽の位置関係をとらえさせる設問の正答率は、市平均を13ポイント下回った。</p> <p>○一方、月の公転周期が1月であることは全員が理解し、正答率100%であった。</p>	<p>・身近な生物など、想起しやすい対象が出題されたこともあり、正しく理解し、解答できた問題が多かった。今後さらなる理解をうながすためには、葉が光合成ででんぷんをつくることや人とウサギの胃の位置など、目ではわかりづらい部分を復習していくことが大切である。</p> <p>・月と太陽の位置関係は、デジタル教材などを使って、一定の法則があることをつかませ、活用したい。</p>